



写真は一と玉50万円という最上級の夕張メロン。札幌市中央卸売市場で5月17日に行われた初競りで、最上級の1箱（2玉入り）を農業生産法人Tokofarm（東川町東3号北22番地）が落札。2玉のうち一つは同社のグループ会社イーストライン、ラ・ヴィンニユ事業部が経営するワインバー「ラ・ヴィンニユ」（旭川市4条6丁目パリ街）に送られ常連客を喜ばせた。

Tokofarmは、愛知県春日井市に本社を置く青果卸の東興青果（愛知県春日井市東山町3丁目・吉田彰代表取締役）の北海道初となるグループ会社。

ひと玉50万円 初競り夕張メロンラ・ヴィンニユにお目見え
常連客にお裾分け デザートとして無料提供

美瑛、上富良野、帯広など全道約70の農場と契約し、農作物は「適地適作」を基本に、アスパラやジャガイモ、かぼちゃ、玉ねぎなどを主に生産。社屋に併設する約5500坪の広さの総合集配センターで選別し、親会社である東興青果のネットワークを活かして全国の市場や量販店の配送センターに出荷している。

今回の落札は、「ネット通販における夕張メロンの取り扱いで主導権をとり、また社内での土気向上につなげたい（同社）」という考えから札幌市内の仲卸業者に依頼して落札。夕張メロンの初競りは御祝儀

価格が高値が付く傾向があり、これまでの最高は08年の250万円。今年の出来も上々で昨年に続いて1箱100万円がついた。

ラ・ヴィンニユにメロンが届いたのは17日の午後。熟すまでの2日間、カウンターテーブルの中央に飾り、22日に常連客にひと口サイズにカットして無料で振る舞った。村田秀和店長は「ニュースで報道されたので問い合わせが相次ぎました。手で触れられるお客様も多かった。上物でしたので喜んで食べていただけました」と話していた。

